

児童養護施設 **と 光 学**

〒 099-0702

北

ラグビ の 文 化

袁 長 堤 茂 樹

ま す。 新 年 明 け ま L て お め でとうござい

た。 様 た 無 が 昨 事 地 年 心 1 域 から感謝 保 ŧ 年 の皆様 護 を過ごすことが い 者 ろ い の のご支援 申 ろなことが 뱜 様、 し 上 げま 関 の 係 お 出 あ 機 かげ 来 りま 関 ま の で、 뱝

れ げ ラグ ク る つ など予選 1 る た 令 غ É 和に 日 い 位 だ 本 لح 思 代 つ て な ワ IJ 表 I つ た い て ア は ま ル 私 グ 記 す ド 1 は を全 カ 憶 ル 対 日 ラ 戦 本 に 桜 ツ 勝 ン 時 プ 残 で の ド る 開 で 12 戦 を 突 出 1= 世 士 催 破 勝 界 لح 番 さ 来 ラン 利 呼 12 れ 事 ば す 挙 た ഗ

> た ベ 熱 優 が 狂 勝 ス の 1 渦 日 た 8 に 本 南 1= 巻 代 ア 進 き込み 表 フ 2 の IJ ま 快 カ し ま 進 に た し 擊 涙 た。 は を 準 日 飲 Þ 本 2 決 ま 勝 中 を で

ت ح 合 て、 な 姿 す 方 し 力 Α に を な が 関 い の I つ 0 日 それぞ-に 合 わ た ŧ 1= 終 結 Ν 係 1 本 ち、 め な 感 果 わ Ε 敬 な わ 代 f 動 に り、「0 を せることに 意 < 表 つ Т れ 0 しまし 勝 残 を た は み Ε r が自分の 表 後 L 利 ル お ん Α という O n 互 は ま なは Μ た。 n е 讃 1) 選 し ツ よっ が異なる選 た。 е え 1 手 勝 f ഗ 役 目 ŧ 合 力 合 割 利 0 て、 う、 を そ 的 観 の い を果 r つ 客 し に た 人 言 Α て、 そ < ŧ 向 素 め は 葉 た I 15 敵 晴 手 ん L か 3 の I た 味 試 ら 6 が な つ 元

ワ ル ドラグビー(ラグビ I ഗ 玉 際

北海道紋別郡遠軽町 生田原伊吹46番地3

袁

学 心 育 心 袁 こてる。 豊かでたくましく 目 体」、 標 「 行 」 の 生き抜く子供 調 和 が لح

れ

を

とが 魅 うこと)」とい 力 の れ 重 心)」「結束(一つにまとまること)」 ゃ お 競 「 規 仲 IJ ッ 文 ら た 誠 了 1 技 化 5 律 実さ)」「情熱 さ だ 出 プ の 連 間 盟 その つ ル れ け ح 来 5 の ゃ の ま ŧ ま 全 つ で は、 相 中 し な 言 し 試 の 価 手を価 ル た で「品位 < た 合 え 価 値 を順 うラグビ ラグビー る を を 値 (ラグビ 通 ŧ 示 私 は ラ 値 守すること)」「 グ 謂 は の し し あ つ フェ ビ で、 選 て わ て 憲章 る人と 感 ば 手 い の · を 定 じ の ラ ま 文 ワ 特 ア 化 熱 取 グ す 徴 し の プ 1 0 ビ て る を 1= い ル 熱 レ め ド 扱 尊 ŧ 1 示 て

ば 現 い る لح 代 社 ょ 1) う 会 う 1= 1= 利 思 己 お 主 1) 1) ま 義 て す ഗ 人 自 Þ 分 敵 を が さ 激 増 え え 良 < て け

て れ

IJ ず 非 し 1) れ 進 ラ し ഗ 衝 た ま し す。 むべ て り、 て う 認 ま グ 突 行 は 分 難 É す。 を 認 目 め い 断 す ま 動 き 道 き る す め 分 合 ず 生 標 が ت ます。こう る 4 合 断 12 他 11 お は 進 手 い ゃ ま 互 者 を そ み、 出 لح ع 向 の す。 を 協 で 対 か 1) 示 れ し ll 事 とは 力 立 つ 尊 ま 情 自 に し 対 つ し そ てく す。 たこ で て 様 重 立 ゃ 分 Ĺ 合う す 違 は 選 の Þ が 痛 の た現 っ ع な ることに れ そ 手 上 な エ 4 正 道 < で、 た私 達 違 な ま ス ഗ は 当 状 で し ێ は い カ 結 性 の す。 たちが を た。 を 仲 結 勝 果 多 を レ 中 < 尊 間 束 利 始 人 考 訴 で、 そ Z ഗ لح 重 ま え لح 1 え

ビ た し ん け こ エ デ め て れ れ \Box ま 本 の 11 ル ば か た は b 代 方 ル < 多 法 表 か ツ 企 日 ジ ŧ が 業 < ツ が 本 ഗ ŧ \exists 前 示 ഗ 課 違 の は 唆 違 う 少 題 社 外 ン ツ う 人 会 子 لح 玉 ズ ド Ĺ て ŧ 高 な た 人 ち は < Þ IJ 成 を 齢 れ ح とどう IJ 受 ま 化 テレ ま す。 共 立 け チであ が す。 生 ち 入 進 ラ ビ す ま 共 れ 4 ഗ ゲ 世 る る 生 な

> 手に す。 크 つに ケ 合 ん。 価 の ジ لح 試 シ イ だと 1 値 3 が 厶 1) 合 \exists ン ケ 現 中 タ に ワ し シ 求 セ 出 思 3 問 ビ 加 め ^ 来 ŧ の フ え シ い ク 高 ン ま 題 は ツ る 声 大 ュ ま ても を 度 の を ド を 3 し 自 チ 切 す。 形 解 さ な 積 た 分 \Box か ഗ 良 成 戦 1 4 決 た 厶 け を 中 自 ŧ こう す い 術 重 ち チ が 合 語 で し るこ ラグビ て で 強 の を ね の い つ 主 か が L 徹 ジ て 可 い い 性 \Box ŧ لح く こ た 話 能 チ 底 ェ の い Ξ ع し が لح \Box 的 1 だ し ま ュ そう = れ 憲 出 す 厶 Ξ ع Ξ 合 12 し うこ 来 る を を た。 ま 章 ュ \Box 話 ケ の Ξ た チ 選 で せ し

ら 그 に ば Ε つ . 尊 思 て な 学 の ケ 重 い け 価 必 袁 Е ま 要 れ 値 12 Α ション」、 す。 な を そ ば お Μ 物 大 11 11 品品 切に だと け て ع て「自 ŧ な 位」「 な 思 い い つ しことが ラグ て、 い ず 主 情 職 ま 性」と れ : 熱 」「 す。 ビ 今 年 員 ŧ が 学 多 ٦ 規 (1 袁 か 1 よう れ 0 に \Box ら 律 か لح Ξ 学 Ν

> ま ŧ す た ち を 支 援 し て い き た 1) لح 思 1)

す。 年 参 で 頭 す。 加 3 の 最 LI 年 後 是 ぶ 挨 に た だ 非 IJ 拶 な き 多 に に IJ < た 友 ま ざ < 交 の す 卒 会 11 が お を ま 願 袁 L1 生 開 す 窪 申 の ょ 催 内 う 뱝 す 会 様 る 長 上 にご 予 げ の 定 今 年

友交会会長 窪内友交会会長より」

光

郎

ます。 新年あけましておめでとうござい

皆 ま を す。 様 迎 え に ら お れ か た れ 事 ま て お は 慶 び 良 申 1) お し 上 正 げ 月

野 は 昨 米 年 日 の 向 引 大 を 退 IJ 振 の I IJ 日 グ 女 返 子 本 で IJ プ の ま 4 す 日 2 ゴ 本 لح 年 ル 人 ス ぶ 選 フ ポ IJ で 手 1 は 1 ツ ょ チ 界 渋 で

ビー 全 う流 開 か 最 の い の 8 催とい 大と成 では ら開催され、 事 ほ ま 米 行語 で勝 ع ワー の 選 が な 盛 過 様 手 う事 に思 大 り 上 ち ル いかと予想されます。 りえる 去 権 賞まで決まった 上がり日 に ド 優 · で 日 が ゎ な カップ杯で 勝 り、 札幌では 才 い れます。 ع 1本中が リンピックが 言う快 本中 史上 ワンチー 沸き上 . 言 初 今 年 は マラソンが 挙 事 の 日 を は ベ 本 が 厶 つ が 7 ع て ス 更 昨 ラ 達 月 に 言 グ 日 る 成

足 願 < し し で し 月 たい は か さて 4 先 い 前 6 にしております。 致し 決 1= 元 回 と 思 月に 本 ま 盛 気 同 血り上が な ま ij 年 様 す。 姿で再会出 いますので、 次 開 で たくさんの 第、 3 年 催する予定 りたいと思い オリンピ 皆様に が たち 来 参 ょ んです。 ツ は 友 ま クよ 加 ろ 交会 お す を ま しく ょ 知 <u>ن</u> — らせ 詳 う す が 期 ぉ の 待 5 し

ア J & ギターコンサー <u>|</u>

小 四 А • F

世 界、 ズニー 音色がきれいで素晴らしかったです。 スト ラボレーションしたいです。 た。 ギタ た し レ スの ま の の リリ 星に ピアノがとても早くてび が メドレ し 戸 田 衣装がすてきでした。ディ た。二人で合わせた演 楽 . 願 スト さ し かっ いを知ってい ーでミッキーと小 W の が たです。 演 鹿 奏 野 に 先生とピ 来 た の てく 私 ŧ ・さな アニ っ で歌 今 奏 れ < 度 は ま

の

ド

つ

宙

ル

 \Box

IJ し

スキングランチショー」

小四

К • Т

が ござい た今度も ツ お ったけど全 クシ チショ に ま お 莓 料 1 ゃ 浮 わ 理 2 l1 ま が 3 チ 月 い し し いした。 ・ た ŧ 3 すごく美味 1 行きた か 1 コロ 部 4 の 面 つ ŧ 招 白 日 が た 食 面 待してもらいまし べま に、 で か 1) 楽 白 つ か す。 ル で し ノースキングラ たけ す か つ ケーキとアイス した。デザー しくて、沢山あ たです。 つ そ ど、 た の ありがとう です。 後 の 番 ボ | マ ジ は ま 1



サンタさん

U 0

つ て た 先 日 来 て 下 は 私 クリスマ は さり こ れ あ で 、スプ サ りがとうござい ンタさん レ ゼントを に 会 う ま 持

す。 す。 の 私は冷え症なので使いたいと思いま 形 ランケット 最 す。本当にありがとうございま ます。ブランケットも今時期 力 1 す て下さい。 レ ワイイので小物を入れる為に使 ・チは、 ぎてい 後になりますが、 ポーチが入ってい ゼントの中には、くまの人形とブ は は 8部屋 (今年もすごかったです)私 3 回 1= キとお菓子美味しかったで つも見るたびに 目 トイ・ストーリーですごく 飾 とガチ に IJ なりま ました。 ヤベル まし す。 お体に気を付け クラフトポ *t*= 驚い トとクラフ 毎 年 は寒く、 熊の人 て IJ じた。 のプ ア い ま

太

鼓

の

演

奏

では、すごく音が

大

へきく

た

の

の 才



自 衛 隊 演 奏 会

Υ Н

り演 軽 十二月十八 から 奏してくれました。 生 田 日 原 1= 自 ゎ ざ 衛 わ 隊 ざ の 皆 来 て さ 下 んが さ

る

遠

す。 て、 て 踊 会で踊 ま カ、 ル ったです。 自 ド、 し 衛 た。 バ IJ 隊 ク チをま ま る レ 3 の ョン 曲 ۱९ 6 方 し プリ た。 で 5 の Ĺ ゎ 知 日 演 カで してい つ λ 奏 とても の ちゃ て 紙 で は、 は、 飛 い 楽 ん 行 た クリ 機、 の マ し の が 曲 IJ か で 前 ス すごか つ が 1 マス に出 プ た あ ゴ で IJ IJ

ざい とても楽し 最後 ま ま ま に た演奏を聴きたいです。 ケ| し *t*= い キを頂きも 時 とても美 間 で良い思い 味 あ しか りがとうご 出とな つ たで

沢

クリ ス マ ス 会

R

S

ゃ そ が終 い な で練習 ま つ う は、 ま て 山 し し し 1 日 の か もらい て 迎 て た。 え たからだと思い 表 ゎ か ダ し の 体 か を少 Ì た。 情 育 る b を で お客さんに来て頂 い 約二ヶ += え る 館 頃 は $\overline{+}$ で を 木 嬉 しず し た で に ゃ 話 所 しかったです。 た。こ 月 本 月 は、 が 練 とに 合 月 ること 厶 番。 習 頑 つ の 出 に つ に 入 張 進 か た 入 て 8 できるま 出 ます。 って IJ < れ 踊 め い 割 に 結 つ し てい 果、 は IJ る 練 し < た 物 き、 中、 習 。 良 終 完 ら ま は、 頃 か ま で え 成 い し ワ か 諦 を間 拍 た + た。 め つ し 体 に が ら 何 たと みん ずに た。 育館 な 完 一月 手 ル 話 に ド IJ を 近 成 す 次 合

来年 ことを楽 ŧ 沢 山 みにしています。 の お客さんが来 てく れ る

帰 省 で き な 1) 児 童 の 旅 行

高 Α

O

色 てとても 12 12 **々** 行くこ 行 私 な た つ ち 場 て ح 楽 所 来 は し で が ま かっ 買 出 L 来な 泊 二 た。 い物をす たです。 日 い 日 の 頃 の る で、 旅 沢 行 事 山 が 北 買 で 北 出 見 11 来 の 物 見 近くの ツ

鶴

雅"

ア |

が

あ

IJ

ま

し

僕 阿

は、

令

和

二年一月十

日に た。

寒で

た。 で 色 とても 木 きた旅 マ テ な ル 事 気持ちよ で 飯 行 ŧ をしてとても は でした。 とても美 友 達 かったです。 と楽しく 味 良 し 過ご い 思 温 せ い 泉も 出 ま が し

食べ

ま

し

た。

今まで行

つ

t=

木

た

後、

ホテ

ル

ഗ

ストラン

で

か

れ、

各自滑

ij

ま

し た。 た。

四

時

スキー場

では

初

心

者と上級



朝

か

午

後

時

ま

で

滑

IJ

ま

し

肉

痛

に b

な

IJ

ま

し

た。

٦

れ

か

ら

で

良

思

1)

出

لح

な

IJ

ま か

し

た。

ツ

は

楽

か

つ

た

す

機

会

は

な

か

な

な

い

لح

IJ し

眠

る

ت ح

が

で は

き

ま れ

し

た。

꽢

た。

そ

の

夜

疲

ŧ

あ

IJ

つ 9

た、

逆

流

し

て

見

え

る

滝

は

不 廊 上

階

の

天

風

呂

に

入 に

IJ

ま

し

た。

°C

の

外 露

は

寒す

ぎ

ま

し *t*= かっ

た

で

す。

温

泉

ŧ

入

IJ

中

で、

番

品

数

が

多く上

品

で

阿 寒 で の 思 い 出

S

Α

スキー場でスキーをしまし というホテルに一泊二日 者 ス 思う 夕 た ぐ で ス 日 思 下 皆 お テ 間 阿 に分 す。 日 ŧ つ に 食 寒の + 丰 議 で ル 滑 1) た。 1 間 の 筋 早 す で あ 最 を し の つ です。 た。 焼 ŧ < 思 1) お て 行 み に ま こをし たきず 心 イ て き た。 け < は し い し ぱ 別 肉 つ に 楽 わ て、 た。 て、 を じ 神 里 し れ て て い て 行 た たり 親 < な だ を お ま 食 ょ は 社 き お い し つ す すごく 中 家 す 家 べ で 大 さ 木 か れ た ま か は 根 た ま る で に 吉 お λ た つ わ い に の ŧ でう せ し 時 タ ŧ た だ け た。 つ ま い を は の 厶 は とて بخ た。 ぱ に、 1 で 犬 で の お 連 つ か あ じ 1) す。 IJ げ ع だ お い め が れ た つ い れ 行 もや だ 悲 1 て け を た る 遊 猫 い 友 l1 け て し し た < بخ 兀 行 で ع じ だ け し び が シ し か つ か た 回 す。 ż ど、 ま 食 ち < ま つ さ ょ つ 転 ま い し つ ら 3 る て すし う た W た し ベ し が な 4 て ょ てく た。 た。 < ぶ 4 つ で ん お か ゃ に で い さ れ な 正 つ 思 ん 抱 で テ

冬 休 4 シ \exists トステイ」

Α •

ごとで や、 す。 て泣 す。 た な ま で 月 れ 馬 し お つ L つ

出 す。 ステ が できまし ありがとうございました。 イは とって *t*= は も楽しかっ じ め て の シ た 3 で



感謝申し上げます

十月二日~ 十二月三一 日

物物 品·食品等】

間 ア ス 加 様 クト タイ 勝 藤忠士様(生田 株 田 様 ル 警備オフ ながさわ様 原)、 礼 大江一 幌 西 市 1 原勝 恵 様 原)、 ス代表取 (美幌 北 義 (遠 見白 様 ヘア・ 町)、 軽 生 締役 樺ライオ 町)、(有) 田 モード 原)、 山 天 薫

餅組 都)、 設総 淳司 救 市)、 本児 ング株式会社北見事 サンタ様、 性会様(大空 絹子様(東京都)、 原友美様(音更町)、 ンメリー ンズクラブ様(北 豊 佐 長野県)、 遠軽町)、 世軍遠軽 増増 呂 富 細 合 様(札幌 合様(新 大橋景子様(岐阜県)、 置田 間 株 町)、 谷昌弘様(紋別市)、 養真里様(陸別 毛町)、 マ 寄 養護 町)、 式 ルゼン佐 付 協 会社ジョイン代表取 靖子様 北 土田浩子様(北見市)、 サイト 平田実様 東藻琴保 同組 施 小隊様 (市)、 潟 町)、 アキュ 海 設 森谷貴子様 県)、 道 合 様 財 団 (北見市)、(一 藤 見 · 運 文屋代 斉藤正七郎 (遠軽 コ カ 陸 果樹 市 | |-山 業 安藤節子様 営 町)、 (東京 全 (深川 別 護 形 事務 所様(北見 コーラボトリ 玉 歯 司 町)、 袁 幸 表 (遠 更 児 花 科 佐 槙めぐみ様 自 都)、 市)、 恵 局様 木 全 国 生 診 童養 岡 佐 衛 藤 軽 様 様 保 締 日 療 下 藤 敬 隊 美 町)、 財 東京 (市)、) 紋 北 群 大 森 シャ 善 役 本 和 護 豊 青 曹 所 護 子 日 友 社 見 鏡 様 院 女 様 別 菅 施 馬 池 様

> 軽町)、 鹿野誠 岡県)、 市)、 市 会様 事 様(北見市)、 本敬二様(遠軽町)、 生田 広 代 業 尾 表 取 団様(東京都 (遠 町)、 森田 公益財団 原)、 一様 (旭川 ワ 広 軽 締 町)、 尾町役場水産商工 寛様(滝上町)、片岡 門司 役 ル 湯 ドメイト 株式会社セコマ様 本悦子 瀧澤克 法人每 ほ (市)、 徹 つともっと様 様 北見藤高等学 様 株 則様 日新 深見 内田 式 北 聞 会社ホ 京 石 敏 見市)、 東 東京 観光課 都 宏様 州 狩 理 様 (福 市 礼 クビ 社 恵 (遠 (静 様 会 校 畄 藤 様

般 寄 附 金】

弘 様 株式 会様 市 都)、 様(北見市)、 羽 賀商 会社ジョイン代 遠 (紋別市)、 R 永 軽 i 店様 町 澤則 а (北見 次様 置田 Ν 美 遠 i く装販 軽 · (美 市)、 靖子様(北 r 表 町 а 幌 売 取 社 n 町)、 (株) 締 坂 会福 j 役 本 а 様 健 見市)、 土 祉 細 n 様 協 田 谷 東 昌 浩 別 議

子

京

藤征一 くる 町)、 別市)、 軽町)、(株)アオイケ様(遠軽町)、 町)、 ブ様(遠軽町)、青池鉄工様(遠軽町)、 軽 総 雍子様(網走市)、 大久保綾子様(遠軽町)、内竹薫様(紋 (遠 軽 米内山 遠軽ロータリークラブ様 本政司様(遠軽町)、荻洲燃料店様(遠 るみ里親会遠軽支部様(遠軽町)、 松尾博子様(小樽市)、遠軽新聞社様 田 (遠軽町)、遠軽青年会議所様 原支店様(遠軽町)、熱田洋子様 合支所(遠軽町)、 町)、遠軽清掃社様(遠軽町)、近 H 長 町)、長谷川光夫様(遠軽町)、 大湧工業(有)様(遠軽町)、く 様(湧別町)、 勝太郎様(遠軽町)、浅利誠様 里 谷川 遠軽駐屯地 親 会網 準 様 走支部 (美幌 遠軽町役場生田 生田原老人クラ 遠 曹友会様 軽 町)、 支部 (遠軽 信用金 長 · (遠 軽 町)、 · (遠 軽 庫 瀬 奥 遠 . 生 谷 兼 原

> 一行事 ·予定

◇二月

三日(月) 節分豆まき

四日(火) (小)雪祭り

五日(水) (中)学力テスト

職員会議

六日(木) 第102回道東支部

職員研修会~七日

七日(金) 全校スキー

- 二日(水) 五日(土) 職員会議・ 日中想定避難誘導訓 給 食 会 練

九 日 水) 職員会議

二〇日(木) (中一・二)

学年末テスト~ニー H

二一日(金) (小)全校参観日

二六日(水) 二九日(土) ふれあ 職員会議 ケー 家庭 通 ス 会 信 議 日

◇三月

二様(東京都

日(日) 卒園式

(遠) 卒業式

三日(火) ひな祭り

> 四 日 (水 員 会

六 日 金 (紋) 卒 業 式

日 (水) 職員 (会議 給 食 会議

三日 金) (中)卒業 式

八日(水) 四 日 $\widehat{\pm}$ 夜間想定避 職員会議 ケー 難 誘 ス 会 導 訓

議

練

二四日(火) (小)卒業式

二九日(日) 二八日(土) 家庭 法人内研修会 ・ふれ あ い 通 信

日

三一日(火) 居 室 一発表



■編集後記

きました。 す。新学期も元気に迎えることがで した。沢山の思い出ができたようで 泉旅行、 済ませ、 子ども達は、 令和二年になりました。 スキー 帰省やショ 宿題や大掃除を早くに 旅行と満喫していま ートステイ、 冬休み 中 温

【基本理念】

【ホームページ】 親の心で子どもの自立支援

中学生

7

5

1 2 小学生

8

7

5

1

http://www.hokkougakuen.jp

高校生

4

7

1 1

子ども家庭支援センターオホーツク

メール kodomo. ks. ohotsuku@wine

電話

0158-45-321

1

その

他

0

0

0

plala. or. jp

相 談 料無料。匿名でも結構です。

合

計

1

1

3

9

9

8

北光学園在園数

月一日現在)

地域小規模児童養護施設在園数

| 幼 | | |
|---|---|---------|
| 児 | | |
| 0 | 男 | |
| U | 子 | |
| 0 | 女 | _ |
| | 子 | F |
| 0 | 合 | (一月一日現在 |
| | 計 | りた |

| 合 | そ の 他 | 高校生 | 中学生 | 小 学 生 | 幼 | | |
|---|-------------|-----|-----|-------------|---|---|------|
| 計 | 他 | 生 | 生 | 生 | 児 | | |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 男 | |
| | | | | | | 子 | |
| 7 | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 女 | |
| | | | | | | 子 | 月 |
| 7 | 0 | 0 0 | 3 | 4 | 0 | 合 | 日日日 |
| | | | | | | 計 | 日現在) |

※本園より預かり一名

【定員】

六 名